



学校だより 6月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年5月31日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

150年のバトンがつながる

校長 寺園 淳

5月10日、抜けるような青空の元、創立150周年記念事業の一つ、バルーンリリースが実施されました。本来ならば子ども式典の日に行う予定でしたが、あいにくの雨。実施が延期されましたが、子どもたちにとっては楽しみが増えたように感じたのではないのでしょうか。当日は実行委員の小林 優梨香さんのカウントダウンに合わせ、様々な色の風船が空に舞い上がりました。子どもたちは、150周年を祝う思いを載せた風船をいつまでも見送っていました。この光景が、子どもたちの心に強く残ることを願っています。

初夏の訪れを感じるこの季節、子どもたちは運動会に向けて様々な学習に取り組んでいます（この原稿は運動会前に執筆しました）。本校にとって春に実施する運動会は、学年・学級の仲間づくり、上級生としての自覚を育む大切な行事です。さらに教育活動方針でもお伝えしたように、主体性を育むことをねらいとしています。運動会でも、子どもたちが教師から与えられた活動として取り組むのではなく、自分たちから働きかけて「運動会を創っていく姿」を求めています。運動会に向けた学習を進める中で、今年も5・6年生はソーラン節に取り組みます。その様子を見てみると、例年以上に気合が入っていることが掛け声から伝わってきます。きっと今年が150周年記念運動会であることを強く受け止めている表れだと考えます。そこで今年の運動会を締めくくるのは、5・6年生が演じるソーラン節とすることに決めました。ソーラン節を一生懸命に踊る5・6年生の姿をみて、下級生は強いあこがれをもつはず。保護者の皆様、地域の皆様、石川小をリードする子どもたちの姿にご期待ください。また、今年は全校児童がそろいのTシャツを着用します。石川小が一つになる姿もご覧になってください。

全ての教育活動は、学校教育目標「石川魂」の具現化であり、子どもたちが様々な資質や能力を身に付けることにあります。私たち教職員は子どもが学びの主体者になるように努めてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

今年の運動会のスローガンは「つなぐ ～石川小 150年のバトン～」です。開幕セレモニーから始まり、本番に向けての学習で皆の心が一つにまとまってきました。その要となったのが赤組、白組それぞれの応援団長です。運動会に向けての意気込みを紹介します。

赤組応援団長

わたしは、この運動会を今までよりずっと楽しんで、最高の思い出になる運動会にしたいです。石川小150周年という長い歴史に、赤組優勝の文字をきざめるように赤組団長として全力で取り組み、みんなで優勝をつかめるようにがんばります。

赤組、絶対 優勝するぞ。

白組応援団長

今年の運動会で、全員が心を込めて全力で応援するという目標を達成できるように、わたしたちがリーダーとなり、応援を広められるようにがんばります。そして、わたしたち6年生は、最後なので悔いのない運動会にしたいです。

歴史をつないでいくぞ。